

## 「教育に臨時はない」 2017臨採者のつどい開催

5月13日、岩手県自治会館において臨採者のつどいを開催し、48人の臨時・非常勤で働く教職員が参加しました。

業者による採用試験対策模試、ガイダンスの後、高教組から臨時採用教職員をめぐる諸課題と教員採用試験の情勢等について説明しました。

参加者からは、「自分の労働条件についてよくわからないまま働いていたが、知ることができた」「ガイダンスは採用試験のポイントがわかり参加して良かった」などの感想が寄せられました。また、学級担任や部活動、会計業務など、職場の中で悩んでいる様子も伺われました。

今年度の教員採用1次試験は7月22・23日に行われます。「過去・復元問題収録CD」を各分会に発送しています。臨採者に配布し、十分に力を発揮できるよう、分会でも配慮をお願いします。また今年度、新たに作成する「臨採者権利のてびき」を6月中に各分会に発送予定です。



## 退職手当引き下げ反対要請書提出、署名活動

4月19日、人事院は民間企業における退職金の実態調査結果とそれに基づく見解を表明しました。見解では国家公務員との官民較差78万1千円の解消が必要との姿勢であり、見解どおりの実施となれば、2012年度の約400万円の大幅減額に続き、厳しい制度見直しが危惧されます。

これを受け地公共闘（高教組、岩教組、県職労等）は、4月28日に知事あてに退職手当に係る要請書を提出しました。要請に対し県は、退職手当は国準拠であることを強調しつつ、国や他県の動向を踏まえて検討するとの見解にとどめました。

こうした状況をふまえ、地公共闘は今後退職手当引き下げに反対する署名活動を行い、引き下げ阻止に向けたとりくみを強化します。

